

新生駒大徹底予想！

ついに第88回関東大学サッカーリーグが開幕する。2年ぶりに帰ってきた1部リーグでは、また昨年とは違う駒大で専修・早稲田などのあらゆる強豪相手に勝負に挑む。ここでは、新たな選手起用や変わった起用法などをポジション別に見ていきたい。

戦術
 まず、フォーメーションについては昨季同様4-4-2もしくはそれに近い形は崩さないだろう。戦術についても、前線からの激しいプレス、最終ラインから繰り出されるロングボールから、小牟田のポストプレー。さらに須貝、大木などの、最終ラインからのサイド攻撃など、昨年と同様のスタイルを貫くだろう。



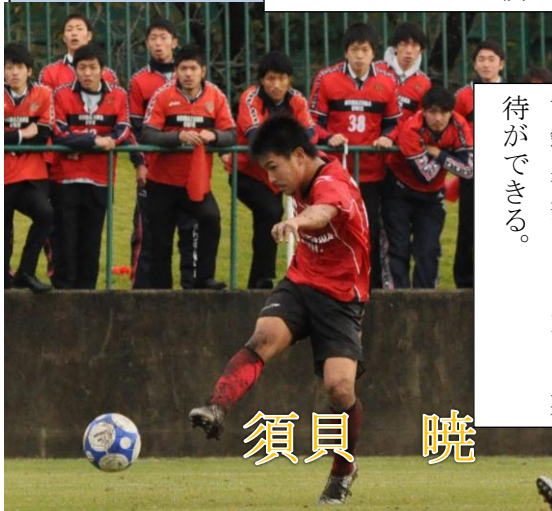
積田景介

GK
 J入りを果たした大石、野村、昨季副将の檜山が抜け、今年から誰が正GKを務めるのが注目される。

開幕前の練習で、Aのメンバーに選出されているのが、秋山、積田の二人。開幕戦は昨季からIリーグで経験を積んだ秋山が濃厚かに思われたが、秋田カップや練習試合などの出場機会の多さから積田だと思われる。



DF
 昨季は総失点2位という好成績を残した守備陣。CBは2月に関東選抜Bに選出され、宮崎で行われたデンソーカップで躍動した今季主将の平尾を中心に、昨季最終節で得点を挙げた川岸や昨季は出場機会に恵まれなかった嶋谷が挙げられる。



須貝 暁

SBでは右は昨季同様大木が濃厚とされるが、田中が務めていた左は昨季セカンドトップで選出が多かった須貝が濃厚。SBで出場した時は鋭いアーククロスでアシストを記録。後釜として大いに期待ができる。



伊藤 慎人

MF
 昨季は前主将碓井鉄平と若山瞭太が主に務めていたボランチ。後釜として誰が入るのか注目される。まず候補では一人目は今季副将を務める板倉だ。約一年半の怪我からの復帰となるが、練習試合では結果を出し、先発濃厚となる。もう一人は昨季CBで起用されていた伊藤。練習試合では、ボランチ起用が多い為、本戦でも同じ起用法になるだろう。



中村 駿

FW
 FWは主要メンバーの中で抜けた選手が最も少ないポジション。デンソーカップで得点を挙げた、小牟田を軸にチャンスメイクしていくのは、今季も変わらない。注目はセカンドトップに誰が来るか。昨季は主に運動量のある立石や決定力のある須貝が先発として起用されていた。しかし、今季は中村駿が濃厚。昨季殆ど出場機会はなかったが、安定感のあるプレーで攻守共に期待ができる。さらに、新人王となった吉岡も持ち前のスピードやボールのキープ力で、上位進出への鍵となってくれるに違いない。